

#### 本資料について：

- 本資料は、欧州委員会による「環境フットプリント」のパイロットへの参加者募集のための文書「CALL FOR VOLUNTEERS」を、経済産業省委託事業「環境負荷可視化に係る国際動向対応事業」の受託者・みずほ情報総研（株）が翻訳したものです。
- 本資料の位置づけは、あくまでも環境負荷可視化の海外動向調査のための参考資料であり、用語・用法の厳密な精査は施していません。内容については、必ず原典をご確認ください。（原典 URL：[http://ec.europa.eu/environment/eussd/smgp/pdf/Call\\_volunteers\\_final.pdf](http://ec.europa.eu/environment/eussd/smgp/pdf/Call_volunteers_final.pdf)）

## ボランティアの募集

### 背景：グリーン製品のための単一市場の構築

製品や組織の環境影響および実績について信頼性の高い比較可能な情報を提供することにより、人々は最も資源効率が高く環境に配慮した製品を選ぶことができるようになります。

欧州委員会は「グリーン製品のための単一市場の構築」<sup>1</sup>普及の一環として、製品および組織の環境パフォーマンスの測定を目的とした欧州共通の2つの手法、**製品の環境フットプリント（PEF）**および**組織の環境フットプリント（OEF）**を提案し、加盟国および民間セクターによる採用を奨励しています。環境フットプリント（EF）に対する製品別およびセクター別のルールを策定するため、今後3年間にわたり、複数のステークホルダーによるパイロットを数回実施します（この3年間のテスト期間を「EFパイロット段階」と呼びます）。

### パイロットの目的

欧州委員会は、第1次パイロットにご協力いただけるボランティアを広く募集しています。

EFパイロット段階の目的は次の通りです。

- 製品の環境フットプリント・カテゴリー別ルール（PEFCR）および組織の環境フットプリント・セクター別ルール（OEFSR）の作成プロセスのテスト。ルールとはすなわち、製品の環境フットプリントおよび組織の環境フットプリントを算定するための製品グループおよびセクター固有の規則です。
- 対象となる各製品グループのための「製品のベンチマーク」、または対象となる各セクターのための「組織のベンチマーク」作成のテスト。
- 具体的なケースに対する PEFCR および OEFSR 適用のテスト。
- さまざまな遵守および検証システムのテスト。整合性の取れた、効果と効率性の高い方法で、これらシステムを立ち上げられるようにします。

---

<sup>1</sup> COM(2013) 196

- ステークホルダーとの連携による、さまざまなターゲット層に対するライフサイクル環境パフォーマンス情報のコミュニケーション方法のテスト。(例、B2B および B2C のコミュニケーションツールを利用した PEF 情報の提供、サステナビリティレポートにおける OEF 情報の提供など)

## ガバナンス体制

EF パイロット段階のための運営委員会を設立します。EF パイロット段階の期間中、各パイロットで実施される作業のモニタリング、作成される技術文書の承認、あらゆる潜在的な矛盾点の解決を、その任務とします。

運営委員会は、以下のステークホルダーで構成されます。各加盟国の代表者 1 名<sup>2</sup>、各技術事務局の代表者 1 名、環境 NGO の代表者 1 名、消費者 NGO の代表者 1 名、欧州中小企業団体の代表者 1 名。欧州委員会が会議の議長を務め、その運営と管理に関わる全活動に責任を負います。

## 資金面

参加は基本的にボランティアとなります。組織の EF パイロット段階参加費用に充てられる予算はありません。

技術事務局に対しては、環境フットプリント技術ヘルプデスクがいくつかの技術支援を提供します。この技術支援については、「環境フットプリント (EF) パイロット段階における欧州製品の環境フットプリント (PEF) 導入のためのガイダンス」、または「環境フットプリント (EF) パイロット段階における欧州組織の環境フットプリント (OEF) 導入のためのガイダンス」(以降、ガイダンス文書と呼びます) 内に記載されています。技術支援には研修と E ラーニングパッケージも含まれています。

欧州委員会はさらに、対面会議の開催を支援し、検証制度のテストのための資金を提供する予定です。

## 応募対象者

規模やセクターを問わず、あらゆる組織または組織グループ (企業、専門団体、労働組合、NGO、政府系機関など) が応募できます。同様に、欧州以外の組織または政府によるパイロットの提案または参加も歓迎します。地理的な制限は一切ありません。パイロットを主導することを希望する企業の唯一の条件は、欧州市場で事業を展開 (製品販売、事務所設置など) していることです。

---

<sup>2</sup> 欧州委員会は、包括的製品政策 (IPP) / 持続可能な消費・生産 (SCP) 定例会議 ([http://ec.europa.eu/environment/ipp/ipp\\_wg.htm](http://ec.europa.eu/environment/ipp/ipp_wg.htm)) の現メンバーに依頼する予定。

今回の第1次パイロットでは、食品および飲料のセクターまたは製品グループは対象外となります。食品および飲料のセクターまたは製品グループは、2014年前期に開始予定の第2次パイロットにおいて対象となります。

## 応募者の任務

応募時には、パイロットを実施する製品グループまたはセクターをご提案ください。ご提案方法は、以下の2つです。

- パイロットの主導者（任務：技術事務局）としての提案。PEFCR または OEFSR の作成プロセス全体において主導的役割を務めます。
- 主導的役割を務める必要のないステークホルダーとしての提案。

技術事務局およびその他参加者の任務の詳細は、「環境フットプリント（EF）パイロット段階における欧州製品の環境フットプリント（PEF）導入のためのガイダンス」、または「環境フットプリント（EF）パイロット段階における欧州組織の環境フットプリント（OEF）導入のためのガイダンス」に記載されています。

パイロットにおいて主導者となるステークホルダーは、プロセスの構築および討議の進行において、非常に重要な役割を果たすこととなります。ただし、パイロットでは透明性の高いアプローチを奨励しており、運営委員会が監督の役割を務め、加えてガイダンス内の規則で代表の条件を定めており、これらにより、すべての参加者がプロセスに対し同等の権利を持つことが保証されます。

一部のケースでは、欧州委員会がルールを作成を主導します。それ以外の場合には、業界またはその他のステークホルダーが主導的役割を務めます。

## 応募期限

応募期限は2013年7月26日17:00（中央ヨーロッパ標準時）です。

欧州委員会は遅くとも2013年9月30日までに、パイロットの選定結果についてご連絡します。

パイロットは、ガイダンス文書の説明に従い、遅くとも2016年10月31日までに完了しなければなりません。

予定されている主要優先事項は次の通りです。

2013年10月・11月

第1次パイロット開始

2014年4月～6月（予定）

検証プロセスのテスト開始

2015年4月（予定）	コミュニケーション手段のテスト開始
2016年10月31日（予定）	パイロット終了
2016年第4四半期～2017年第1四半期（予定）	パイロットの評価開始

## 今後のボランティア募集

ボランティアの募集は今回限りではありません。第2次パイロットに向けて、2014年第2四半期に、2回目の募集を実施する予定です。

## 今回応募しない場合のパイロットへの参加

今回のボランティア募集に応募されない場合、パイロットの主導者（任務：技術事務局）としてパイロットに参加することはできません。

ただし、ステークホルダーとして、PEFCR または OEFSR の作成プロセスに参加することは可能です。ステークホルダーとして応募する場合には、パイロットの選定リストが環境フットプリントのウェブページ (<http://ec.europa.eu/environment/eussd/smgp/index.htm>) に掲載されるまでお待ちいただき、その後、指示に従ってご応募ください。

当該パイロットの対象となる特定の製品・サービス・セクターに直接関係がない場合でも、すべてのステークホルダーが各パイロットに参加することができます。

各パイロットに関連するすべての情報および文書（草案も含む）は可能な限り、一般に公開します。これにより、欧州を拠点としていないステークホルダーも含め、すべてのステークホルダーが作業の進展状況を把握し、各自に最も適していると考えられる形で貢献することができます（会議への参加、各パイロットで利用されるウェブ上のコメント投稿ツールによる意見または技術ペーパーの提出など）。

## 今回のボランティア募集への応募方法

- 2種類のガイダンス文書をお読みください。ガイダンス文書には、PEFCR または OEFSR の作成プロセス、検証およびコミュニケーションツールのテスト、ならびに全プロセスにおける各参加者の任務に関する、詳しい情報が掲載されています。
- PEF および／または OEF 応募用紙に記入し、簡潔な市場分析を付けてください。
- 主導者（任務：技術事務局）に応募する場合には、誓約書に署名し、これをスキャンして応募用紙に添付してください（パイロットの提案が選ばれた場合、原本を欧州委員会に提出する必要があります）。提案者がグループで応募する場合には、メンバー全員が誓約書に

署名するものとします。

- 記入済みの PEF/OEF 応募用紙、市場分析、署名済みの誓約書のコピーを、電子メールにて、[env-environmental-footprint@ec.europa.eu](mailto:env-environmental-footprint@ec.europa.eu)宛にお送りください。

## 数に制限がある場合のボランティアの選定

2013年7月26日17:00（中央ヨーロッパ標準時）までに受領した応募について、欧州委員会部局が審査を行います。ケーススタディの件数は、利用できるリソースに基づいて決定します。

必要に応じて、一定の基準に基づいて選定を行います。例えば、市場の代表的な割合に関与するうえで提案者が有しているキャパシティ、製品グループの多様性およびセクターの対象範囲（製品が最終製品であるか中間財であるかを問わず、製品またはセクターのタイプに関するもので、バリューチェーンの環境影響、複雑性およびダイナミクスなど）、品質の良い第二ライフサイクルデータの利用可能性、既存の製品カテゴリー別ルール（PCR）または類似文書の利用可能性などが基準の例として挙げられます。

## パイロットの評価

パイロット終了後に評価を実施します。独立した外部機関によるパイロット結果のレビューも含まれます。評価の一環として、参加企業は、参加に伴う費用および利益に関連する情報の提供を求められる場合があります。

評価では、環境フットプリントの代替アプローチの検討も行います。環境フットプリントのための代替手法を開発、利用、または促進している方はどなたでも、パイロットに参加することができます。さらに、パイロットのウェブサイト<sup>3</sup>上でプロセスをモニターし、または独立機関による最終レビューの対象として、また欧州委員会が採用する環境フットプリント方法論との比較対象として、代替アプローチを提案することもできます。

---

<sup>3</sup> <http://ec.europa.eu/environment/eussd/smgp/index.htm>